

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	411008	事務事業名	放置自動車対策事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 一般廃棄物の適正処理の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】 37.30%	
	推進施策の展開	○老朽化が進むし尿処理場の早急な整備を図り、安定的な生活排水処理に努めます。 ○海面埋立事業を活用した将来の廃棄物処理システムの構築を推進するとともに、既存の最終処分場の延命化に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 公共の場所に放置されている自動車	意図(どういう状態にしたい): 放置自動車による障害を撤去することにより、市民の快適な生活環境を確保することができる。	事業の内容 (手段)	○「放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例」に則り、所有者不明の放置自動車の廃物認定を行い、適正に処理を実施する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
	「放置自動車対策協議会」未開催。 放置自動車廃車判定依頼件数 0件								直接事業費	千円	55	59	59	59	59			
事業目標	目標名	放置自動車処理台数	計算式	達成項目/目標項目		単位	台数	(予算額) うち一財	千円	55	55	59	59	59				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	0	0		対27年度増減理由	対28年度増減理由				
	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0		(決算額) うち一財	千円	0	0							
	実績値	0.0	0.0	0.0				正職員人件費	千円	1,465	148							
	達成度(%)	0.0%	0.0%	0.0%				人工数	人	0.20	0.02	0.01						
								支出コスト	千円	決見) 1,465	決見) 148							
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否				
	①	放置自動車対策協議会業務 (ソフト事業)	公共の場所に放置されている自動車	公共の場所に放置されている自動車により生ずる障害及び危険を除去することにより、公共の場所の美観と機能を保持し、市民の快適な生活環境を確保する。		市内の放置自動車の一掃を図る。		放置自動車件数 0件		正職員	0.01	臨時等	直接事業費	59	委託	否	臨時嘱託	否
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		ここ最近、協議会開催実績はないが、今後も放置自動車は発生する可能性があるため、継続する必要がある。		A	改善案										
	②	放置自動車調査職員身分証明書発行業務 (ソフト事業)	職員	放置自動車の現状把握の際に必要となる。		放置自動車担当職員への身分証明書発行。		放置自動車担当職員への身分証明書を発行した。		正職員	0.01	臨時等	直接事業費	0	委託	否	臨時嘱託	否
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		ここ最近、協議会開催実績はないが、今後も放置自動車は発生する可能性があるため、継続する必要がある。		A	改善案										

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	所管課評価のとおり、事業を継続して実施していく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	引き続き、業務を実施していく。
	特になし		事業全体の課題・問題点		特になし

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	放置自動車が発生した場合、放置自動車を適正に処理するためには、自動車の廃物認定手続きが必要であることから、事業を継続していく必要がある。	改善案	現状どおり、事業を継続していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり、事業を継続して実施していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	800203
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(3)循環型社会づくりに向けた環境教育・啓発の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度に引き続き、同予算で事業を実施する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者(課長)	川崎 茂昭	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事務事業コード	412005	事務事業名	ごみ燃料化施設管理事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 一般廃棄物の適正処理の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】	37.30%
	推進施策の展開	○老朽化が進むし尿処理場の早急な整備を図り、安定的な生活排水処理に努めます。 ○海面埋立事業を活用した将来の廃棄物処理システムの構築を推進するとともに、既存の最終処分場の延命化に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び市内事業所 意図(どういう状態にしたい): 新南陽・鹿野地域の可燃ごみを適正に処理することで、生活環境の保全及び公衆衛生が確保できるとともに、可燃ごみのリサイクルが図れる。	事業の内容(手段)	○ごみ燃料化施設の円滑かつ適正で効率的な管理運営を行う。平成24年度から、管理運営は包括的民間委託へ移行している。 ○新南陽・鹿野地域から搬入された可燃ごみを適正に処理し、ごみ固形燃料を製造し、東ソー(株)南陽事業所へ搬出する。 ○平成24年度から、周南市全域からの個人持込搬入を試行している。			

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	平成24年度から、運転管理業務を包括的業務委託に変更し、搬入された可燃ごみを適正処理し、固形燃料を製造し、東ソー(株)南陽事業所へ搬出した。 【平成26年度】 処理量8,119t、固形燃料製造量:4,038t、残渣量:186t						項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
【26年度】							直接事業費	千円	233,140	201,440	26,962	0	0		
							(予算額) うち一財	千円	208,812	177,115	26,928	0	0		
事業目標	目標名	ごみ燃料化施設処理量	計算式	達成項目/目標項目		単位	t	直接事業費	千円	239,982	191,024	対27年度増減理由 対28年度増減理由			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	216,171	166,818	ごみ燃料化委託の稼働停止により事業終了			
	目標値	7,061.0	6,853.0	6,853.0	0.0			正職員人件費	千円	5,128	6,656				
	実績値	8,350.0	7,880.0	8,119.0				人工数	人	0.70	0.90	0.31			
	達成度(%)	84.6%	87.0%	84.4%				支出コスト	千円	決見) 245,110	決見) 197,680				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事業の分類	事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否			
	①	ごみ燃料化施設管理の委託業務 (施設管理運営事業)	委託業者	ごみ燃料化施設を円滑かつ適正で効率的な管理を行う。		運転管理業務を包括的業務委託により効率的な運転管理を行う。		H24から3年間の包括的民間委託により運転管理を実施し、H26年度をもって、フェニックスは稼働を停止する。		正職員	0.45	0.2	175,929	可 否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 可燃ごみ処理施設統合に向けて、周南地区衛生施設組合構成市である下松市、光市との協議を進め、平成27年度から新南陽・鹿野地域の可燃ごみを恋路クリーンセンターへ搬入し、熊毛地域の可燃ごみについては、平成31年度から恋路クリーンセンターへ搬入することを決定。						細事業評価		D	改善案	平成28年度から、現在3箇所で行っている処理困難物選別施設を1箇所に集約し、施設の再利用を図る。			
	②	ごみ燃料化施設維持修繕工事業務 (施設管理運営事業)	ごみ燃料化施設	ごみ燃料化施設の維持保全を行い、安定した運転を行う。		ごみ燃料化施設の維持保全のため、修繕工事を早期に発注し、安定した運転を行う。		大規模な修繕工事は実施しなかった。		正職員	0.1		829	否 否	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 長年の使用により、各設備の劣化があちこちに出ているのが現状である。生物を処理する施設であるため錆の発生、また、焼却でなく固形燃料を製造する施設であるため設備投資に費用がかかる。						細事業評価		D	改善案	「フェニックス」は稼働を停止する。				

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③	ごみ処理手数料調定収納業務 (経常的事務事業)	周南市民、許可業者	ごみ燃料化施設に搬入されるごみの処理手数料を処理する。	ごみ燃料化施設に搬入されるごみの処理手数料を処理する。	ごみ処理手数料調定収納業務を適正に処理した。	0.1		2,122	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価						
					A	改善案	引き続き、ごみ処理手数料の調定収納業務の適正処理を実施していく。					
	④	RDF品質管理負担金 (ソフト事業)	東ソー株式会社	RDF(ごみ固形燃料)に含まれる塩素処理費用を負担する。	東ソー(株)からの請求を受け、負担金を支出する。	適正に処理している。フェニックスの稼働停止に伴い、不要となる。	0.05		6,662	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価						
					D	改善案	平成26年度末で施設を廃止。平成27年度中に「処理困難物選別施設」としての施設改修を行う。					
	⑤	家庭系廃棄物受入業務 (ソフト事業)	周南市民	家庭系廃棄物の個人搬入の分別指導を行い搬入受付を行い、適正なごみ処理を行う。	家庭系廃棄物の個人搬入にあたり、分別の確認、指導を行い、受付をして、フェニックス又はペガサスへ搬入させる。	H.24から市内全域の個人搬入受入開始。H26受付実績:12,575件、363.32t(徳山6,439件192.26t、新南陽5,878件163.17t、熊毛242件7.26t、鹿野16件0.63t)	0.2	3.8	5,482	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価						
		分別されず持ち込みをされる市民がおられるため、分別の指導など1件にかかなりの時間をかけなければならない場合がある。ごみの減量化や再資源化のためには、分別が必要だという意識啓発が必要である。				A	改善案	市民に対してより一層の啓発を行う必要がある。また、受付件数が増加の一途を辿っており、市民の利便性を損なわないよう対応者の増員が必要。				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年度から運転管理については包括的業務委託に変更している。平成26年度で竣工16年を迎えることとなる。	前年度までの指摘事項	可燃ごみ処理施設統合により、恋路クリーンセンターでの市内全域(熊毛地域は平成31年度から)の可燃ごみ搬入を決定。建物は使用可能であり、費用対効果を踏まえ、今後の方針を決定する必要がある。	指摘事項に対する改善状況	平成26年度末で施設の廃止を決定。平成27年度からは市内可燃ごみ(熊毛地域以外)を恋路クリーンセンターへ搬入している。自己搬入については、市民の利便性を確保するため、受入体制を整備しているところである。施設は廃止するが、建物自体は使用可能な状態であるので、現在3箇所で行っている処理困難物選別施設を1箇所を集約・再利用する予定。
	細事業の課題・問題点	ごみ燃料化施設は平成11年4月に竣工し、平成26年度で16年を迎えており、修繕費用も増加傾向にある。平成26年度末で施設の廃止を決定。	事業全体の課題・問題点	ごみ燃料化施設は竣工16年目を迎え、修繕費用が増加傾向となっており、また、可燃ごみ処理施設統合協議により、平成26年度末で施設の廃止を決定。		

所管課評価					
評価	D	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	ごみ燃料化施設は、可燃ごみ処理施設の統合に向けての協議が終わり、平成26年度末で施設の廃止を決定。平成28年度から、現在3箇所で行っている処理困難物選別施設を1箇所に集約・施設の再利用を図る。	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	D 可燃ごみ処理施設統合により、恋路クリーンセンターでの市内全域(熊毛地域は平成31年度から)の可燃ごみ搬入を決定。「ごみ燃料化施設」は、平成27年度中に「処理困難物選別施設」及び「家庭ごみ受付センター」として活用すべく、施設改修工事等を行う。処理システムの統合により、より一層の経費の削減を図る必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	800202
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(2)効率的な廃棄物処理システムの確立等

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
平成27年3月をもってごみ燃料化施設の稼働を停止し、恋路クリーンセンターにおいて、新南陽及び鹿野地域の可燃ごみ処理を開始したため事業終了。今後は、処理困難物選別施設として活用を図るとともに、家庭ごみ搬入受付センターとしての機能も維持し、市民の利便性の確保に努めていく。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	412008	事務事業名	不燃物処分場施設管理事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 一般廃棄物の適正処理の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】 37.30%	
	推進施策の展開	○老化が進むし尿処理場の早急な整備を図り、安定的な生活排水処理に努めます。 ○海面埋立事業を活用した将来の廃棄物処理システムの構築を推進するとともに、既存の最終処分場の延命化に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び市内事業所	意図(どういう状態にしたい): 適正で衛生的な最終処分を行い、生活環境の保全及び公衆衛生が確保できる。	事業の内容 (手段)	○市内3カ所の処分場の適正な管理運営により、最終処分を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	搬入される処理困難物の選別、処理残渣の埋立処理を適正に行った。 【H26実績】 最終処分量:3,763t(不燃物処分場2,360t、鹿野一般廃棄物最終処分場65t、N7号最終処分場1,338t)、処理困難物処理量:1,117t(不燃物処分場1,027t、鹿野一般廃棄物最終処分場16t、熊毛ストックヤード74t)、資源化量:114t(不燃物処分場47t、鹿野一般廃棄物最終処分場25t、熊毛ストックヤード42t)								直接事業費	千円	67,185	100,519	103,700	138,990	78,198
事業目標	目標名	最終処分量	計算式	達成項目/目標項目		単位	t	(予算額)	うち一財	千円	48,469	85,665	90,482	111,896	67,863
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	59,363	85,852		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	6,781.0	6,532.0	6,288.0	2,701.0	2,667.0		(決算額)	うち一財	千円	46,095	70,553		消耗品費(フレコンバッグ代)及び埋立業務委託料等の増加による。	
	実績値	4,898.0	3,412.0	3,763.0				正職員人件費	千円	10,841	9,096	1.67			
	達成度(%)	138.4%	191.4%	167.1%				人工数	人	1.48	1.23				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	① 不燃物処分場施設管理業務(施設管理運営事業)		市民及び市内事業所	処分場の円滑かつ適正で効率的な管理を行い、周辺地域への環境に配慮する。	搬入されてくる処理困難物等を選別処理し、資源化を図るとともに、処理残渣を適切に埋立処理を行う。	【H26実績】 最終処分量3,763t、処理困難物処理量1,117t、資源化量114t		0.57		3,271	可	可			
	② 不燃物処分場施設管理の委託(施設管理運営事業)		委託業者	業務委託(運転管理、埋立、処理困難物選別、設備保守等)により適切な管理を行う。	運転管理、埋立業務、処理困難物選別業務、設備保守等、計画的に業務委託を行っている。	各種業務委託を計画的に行い、適切に処分場の管理を行った。		0.11		43,666	可	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 不燃物処分場(戸田)の埋立残余容量がひっ迫している。(H26末残余容量2,218㎡) 平成26年度からN7最終処分場の供用開始となったため、N7最終処分場運転管理委託を締結して、N7最終処分場への搬入を開始。			B	改善案	N7最終処分場は海面埋立であり、当初、海に浮遊する廃棄物の受入はできなかったが、埋立方法の工夫により、一部の埋立処理を開始した。他の浮遊する廃棄物についても引き続き埋立ができるよう検討する。							
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 引き続き、不燃物処分場施設の委託により適正な管理運営を実施していく。			A	改善案									

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③	不燃物処分場施設管理用品の発注 (施設管理運営事業)	消耗品等納入業者等	処分場の円滑かつ適正で効率的な管理を行うため、薬剤等を発注する。	処分場の管理に必要な消耗品等を計画的に調達し、適切な管理運営を行っていく。	計画的な調達により、適切な管理運営を行った。	0.11		1,330	可	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						A	改善案	引き続き、不燃物処分場施設管理用品について、計画的に発注していく。					
	④	不燃物処分場施設等修繕業務 (施設管理運営事業)	修繕業者等	不燃物処分場他の維持保全を行い、効率的な稼働及び設備の延命化を図る。	設備の維持保全のため、適切に修繕を発注する。	最終処分場施設設備や運搬車両・重機等の修繕を実施した。	0.11		6,734	可	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						A	改善案	引き続き、不燃物処分場施設等修繕について、適切に修繕を行っていく。					
	⑤	不燃物処分場施設工事材料の発注 (施設管理運営事業)	納入業者等	処分場の円滑かつ適正で効率的な管理を行うため、埋立用覆土を発注する。	埋立用覆土を計画的、適切に発注する。	埋立用覆土2,000㎡	0.11		4,320	可	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						A	改善案	引き続き、不燃物処分場施設工事材料について計画的に適切に発注していく。					
	⑥	処理困難物等搬入受付業務 (ソフト事業)	市民及び一般廃棄物収集運搬業者	不燃物処分場他に搬入される処理困難物等の受付、確認し、不適物の搬入を防止する。	処分場に搬入される処理困難物等の確認、受付、計量を行う。	受付、確認、選別を行い、不適物の埋立を行わないよう努めている。	0.11		0	可	可		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他					細事業評価						
		搬入の際に確認を行っているが、市では収集しないごみ(注射針や中身が入ったガス缶など)が多数混入したまま搬入されている。ガス缶などはガス抜きされていないものが大半である。					B	改善案	ガス缶はガス抜き及び穴あけ作業を行い、処理している。市民や収集する委託業者へのなお一層の啓発が必要である。				
	⑦	徳山下松港新南陽N7地区最終処分場運転管理業務 (ソフト事業)	市民	市内から発生した一般廃棄物の埋立処分を円滑かつ適正に行い市民の生活環境の保全を図る。	同左	(一財)山口県環境保全事業団に管理運営を委託している。	0.06		26,531	可	可		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
		供用開始後、しばらくは浮遊する廃棄物の埋立ができなかった。					A	改善案	N7最終処分場は海面埋立であり、当初、海に浮遊する廃棄物の受入ができなかったが、埋立方法の工夫により、一部の埋立処理を開始した。他の廃棄物についても、埋立ができるよう検討する。				
	⑧	ごみ処理手数料調定取納業務 (ソフト事業)	市民	処分場に搬入されるごみの処理手数料を処理する。	同左	ごみ処理手数料調定取納業務を適正に処理した。	0.05		0	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						A	改善案	引き続き、ごみ処理手数料の調定取納業務の適正処理を実施していく。					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	不燃物処分場の残余容量がひっ迫している中、リサイクルプラザの稼働により、最終処分量の大幅な削減を図ることができた。また、H26年4月から、新たな最終処分場として、N7号地区最終処分場を供用開始した。	前年度までの指摘事項	N7最終処分場が供用開始したが、当面、海に浮遊する廃棄物の受入ができない。不燃物処分場の埋立容量がひっ迫していることから、海に浮遊する廃棄物の処理方法を検討する必要がある。	指摘事項に対する改善状況	埋立方法の工夫により、浮遊する廃棄物の一部について埋立処理を開始した。ただし、不燃物処分場の埋立容量がほとんどない状況であり、今後も、N7最終処分場へ埋立ができるような工夫を継続していく。
	細事業の課題・問題点	N7最終処分場は海面埋立であり、埋立可能な廃棄物に制限がある。		事業全体の課題・問題点	最終処分量の大幅な削減はできているものの、不燃物処分場の残余容量のひっ迫は依然として続いており、新たな処分場の供用開始後も、処理困難物処理残渣の埋立処理を行う必要があることから、今後も大切に使用していく必要がある。 N7最終処分場は海面埋立であり、当初、海に浮遊する廃棄物の受入が出来なかったが、埋立方法の工夫により、一部の廃棄物については埋立処理を開始した。しかしながら、埋立できない廃棄物については、早急な処分方法の検討が必要である。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	新たな処分場整備も(財)山口県環境保全事業団との共同事業により、予定どおり供用を開始したが、海面埋立であるため、埋立できる廃棄物に制限がある。不燃物処分場の埋立容量がほとんどない状態であるので、埋立ごみの減量化と処分方法の検討が必要である。	改善案	リサイクルプラザからの残渣を分析し、それに併せた処分方法を考えていく。
----	---	---	------	--	-----	-------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課の評価通り、N7最終処分場を大切に使用しながら、埋立方法の工夫等を行っていく。また、より一層の埋立容量の削減を目指し、ごみの再資源化を図る必要がある。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	800202
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(2)効率的な廃棄物処理システムの確立等

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

周南市不燃物処分場の埋立残容量が減少したことに伴い、これまで埋立処理していたごみをより細かく選別するなど処理方法を変更することにより、埋立容量の削減を図っていく。また、鹿野一般廃棄物最終処分場については、計画的に施設の改修・修繕を行うことにより、機能維持を図っていく。
--

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	412013	事務事業名	周辺地域生活環境配慮事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 一般廃棄物の適正処理の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】 37.30%	
	推進施策の展開	○老朽化が進むし尿処理場の早急な整備を図り、安定的な生活排水処理に努めます。 ○海面埋立事業を活用した将来の廃棄物処理システムの構築を推進するとともに、既存の最終処分場の延命化に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 廃棄物処理施設周辺自治会	意図(どういう状態にしたい): 廃棄物処理施設周辺地域の生活環境の保全を図るとともに、廃棄物処理施設の円滑な運営を図ることができる。	事業の内容(手段)	○市が設置する廃棄物処理施設周辺地域の生活環境の保全及び増進等に要する事業を実施する。	【廃棄物処理対策等の取り組み】 49.90%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		周辺地域自治会に対し、適正に補助金を交付した。					事業費	項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
【26年度】									直接事業費	千円	2,633	2,641	2,775	8,437	2,641			
									(予算額) うち一財	千円	2,633	2,641	2,775	8,437	2,641			
事業目標	目標名	補助対象自治会数	計算式	達成項目/目標項目		単位	自治会	直接事業費	千円	2,237	2,412		対27年度増減理由	対28年度増減理由				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	2,237	2,412		周南市熊毛不燃物埋立処分場の埋立終了に伴う施設整備工事の増					
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		正職員人件費	千円	1,465	2,292							
	実績値	5.0	5.0	5.0				人工数	人	0.20	0.31	0.33						
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				支出コスト	千円	決見) 3,702	決見) 4,704							
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否		
	①	不燃物処分場周辺地域生活環境配慮業務 (ソフト事業)	廃棄物処理施設周辺自治会		廃棄物の処理及び清掃に関する法律第9条の4の規定に基づき、処分場周辺自治会の生活環境の保全等に要する事業を行う。		処分場周辺自治会に対し、処分場の管理状況等を報告し、情報の共有を図る。		処分場周辺環境保全のため、草刈、樹木伐採等を実施した。			0.21	1,061	否	否			
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		特になし		A		改善案	引き続き、周辺地域自治会に対しての環境配慮を存続していく。								
	②	廃棄物処理施設周辺生活環境整備費等補助金 (ソフト事業)	廃棄物処理施設周辺自治会		廃棄物の処理及び清掃に関する法律第9条の4の規定に基づき、処分場周辺自治会の生活環境の保全等に要する事業を行う。		地域コミュニティ醸成事業や施設・設備整備事業等に対し、処分場周辺自治会へ補助金を交付する。		周辺地域自治会に対し、適正に補助金を交付した。			0.1	1,351	否	否			
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		特になし		A		改善案	引き続き、周辺地域自治会に対して補助金を交付していく。								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	過剰なサービスとならないよう精査し、事業を実施している。	前年度までの指摘事項	所管課の評価通り、実施していく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	引き続き、周辺地域の生活環境維持のための所要の経費を計上していく。
		細事業の課題・問題点	特になし	事業全体の課題・問題点	特になし	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	廃棄物処理施設が存続する限り廃止できない事業であり、過剰サービスとならないよう精査しながら事業を継続する。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A
所管課の評価通り、実施していく必要がある。	

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	800202
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(2)効率的な廃棄物処理システムの確立等

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
引き続き、廃棄物処理施設周辺地域の生活環境保全等に要する事業を実施していく。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	412029	事務事業名	ごみ対策推進事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) ごみの発生・排出削減の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】 37.30%	
	推進施策の展開	○市民・事業者・行政それぞれが主体となり協働して、ごみの減量化と再資源化を推進するとともに、循環型社会の形成に努めます。 ○生ごみリサイクルを行う段ボールコンポストの普及、フリーマーケットの開催などにより、ごみの減量化と再資源化に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び市内事業所	意図(どういう状態にしたい): ごみ排出量の削減 市民1人1日当たりのごみの排出量 H27目標:704.5g/人/日	事業の内容(手段)	○ごみの正しい分別やごみの減量化、再資源化等、ごみ問題に関する啓発活動を行う。 ○ごみ収集場所の整備、家庭ごみのコンポスト化を推進するために、費用の一部を補助する。	【廃棄物処理対策等の取り組み】 49.90%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	クリーンリーダー研修会、出前トークの実施、市広報やCCS(シティーケーブル周南)を利用し、ごみの分別徹底など、ごみ問題に関する啓発事業に取り組んだ。又、「ごみの分別方法」を示した冊子を作成し、全家庭に配布した。						事業費	項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	116,923	135,010	133,587	143,944		133,587							
事業目標	目標名	市民1人1日当たりのごみ排出量・家庭系	計算式	達成項目/目標項目		単位	g	(予算額)	うち一財	千円	5,863	23,985	20,328	32,290	20,328
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	100,492	110,970			対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	727.0	708.0	690.0	704.5	700.7	(決算額)	うち一財	千円	0	15,108			ごみ袋製作等委託料の増及び印刷製本費並びにごみ袋売払い手数料の減による。	
	実績値	718.3	708.9	712.2			正職員人件費	千円	22,708	23,220					
	達成度(%)	101.2%	99.9%	96.9%			人工数	人	3.10	3.14	2.64				
							支出コスト	千円	決見) 123,200	決見) 134,190					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①		指定ごみ袋製作・在庫管理・売払業務 (ソフト事業)	指定ごみ袋製作・保管管理業者及び小売業者	指定ごみ袋で排出してもらうことにより、分別意識の向上とごみの減量化、再資源化を図る。	入札によりごみ袋の製作・保管・配送業者を決定し、在庫管理を徹底し、指定ごみ袋の効率的な供給を行う。	H26実績 ごみ袋製作枚数:8,000,000枚 ごみ袋配送枚数:10,182,500枚 ごみ袋取扱店舗数:228店舗	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他	細事業評価											
	細事業の課題		ごみ袋製作等に係るコスト削減を、引き続き図っていくとともに、市民に対して、ごみ袋の効率的で安定した供給に努めていく。				A	改善案	引き続き指定ごみ袋製作・在庫管理・売払業務の適正な管理運営を実施していく。						
	②		ごみ対策推進審議会 (ソフト事業)	周南市執行機関の付属機関の設置に関する条例に基づき設置。委員18名	一般廃棄物の処理に関する基本的事項及び減量・再資源化等に関し市長の諮問に応じ調査、審議する。	一般廃棄物の処理に関する基本的事項及び減量・再資源化等に関し、審議し、その意見をごみ行政施策に反映していく。	H26年度 審議会開催実績(5回) 審議事項:一般廃棄物処理基本計画(H26.5.12、H26.7.7、H26.8.7、H26.12.19、H27.3.13)	0.2		435	否	否			
細事業の課題		一般廃棄物の減量化・再資源化を推進していくためには、市民との協働が不可欠であり、今後も、審議会委員の皆さんの意見を取り入れていく。				A	改善案	引き続き計画的にごみ対策審議会を開催していく。							

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③ ごみ収集カレンダー等作成業務 (ソフト事業)	周南市民	収集地区毎のごみカレンダーを作成し、ごみの適正分別、適正排出を周知する。	ごみの適正な分別、適正な排出を周知し、ごみの減量化を推進する。	H26実績 作成枚数:89,500枚 配付世帯:59,506世帯	0.2		2,954	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市広報へ折り込んで配布しているため、自治会未加入者には市広報自体が配布されておらず、ごみカレンダーが配布されていない可能性が高い。自治会加入を促すのは勿論であるが、他にHPからのダウンロード、携帯端末からの「ごみの分別アプリ」の活用等を周知していく。			B	改善案	引き続きごみ収集カレンダー等でごみの適正な分別、適正排出を周知していく。			
	④ ごみ分別冊子(保存版)作成業務 (ソフト事業)	周南市民	「ごみの分別方法」を示した冊子を作成し、配布する事により、ごみの適正分別、適正排出を周知する。	ごみの適正な分別、適正な排出を周知し、ごみの減量化を推進する。	H26実績 作成枚数:89,500枚 配付世帯:67,695世帯	0.1		13,236	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 5年前に作成した「ごみの分別方法」の冊子と比較すると、掲載量を大幅に増加させたが、ページ数を据え置いたため、文字や挿絵が小さくなった。			A	改善案	今回は、ページ数を増やし、高齢者にも見やすい冊子を作製する。			
	⑤ クリーンリーダー活動支援事業 (ソフト事業)	周南市内の各自治会から選出されたクリーンリーダー	地域のごみ問題に対してのリーダーとして、快適な環境づくりに市と一緒に取り組んでいく。	全ての自治会からクリーンリーダーを選出していただき、地域のごみ問題のリーダーとして、市と一緒に取り組んでいく。	H26クリーンリーダー設置率93.4% (徳山:91.6%、新南陽:95.5%、熊毛:97.3%、鹿野:97.8%) 研修会:9回626人参加	0.25		6,790	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 クリーンリーダー設置率は毎年増加しており、ゴミ分別意識の高まりが窺える。			A	改善案	クリーンリーダー設置率は毎年増加しており、ゴミ分別意識の高まりが窺える。引き続きクリーンリーダー活動支援事業に取り組んでいく。			
	⑥ ごみ分別等啓発事業 (ソフト事業)	周南市民	市民のごみに対する意識を高めることにより、ごみの減量化が図れる他、衛生的で効率的なごみ処理環境を整えることができる。	啓発事業として、市広報・市HPへの掲載、啓発チラシ作成、ごみ収集不可ラベル作成等を実施する。	市広報隔月掲載、市HP随時更新、燃やせるごみ減量啓発チラシ作成を実施	0.6		2,008	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			A	改善案	引き続きごみ処理に関する普及啓発に努めていく。			
	⑦ ごみの減量・分別に関する出前講座実施事業 (ソフト事業)	周南市民	市民のごみに対する意識を高めることにより、ごみの減量化が図れる他、衛生的で効率的なごみ処理環境を整えることができる。	啓発事業として、出前トークを実施する。	出前トーク(10回・参加者617人)	0.65		0	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			A	改善案	引き続きごみ処理に関する普及啓発に努める。			
⑧ バイオマス推進事業 (ソフト事業)	周南市民及び市内事業所	バイオマスタウン構想の公表により、市民の環境意識向上、民間事業者との連携のもと、バイオマスの利活用を図る。	バイオマス利活用事業の推進	バイオマス利活用事業の推進を図った。	0.07		0	否	否	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			A	改善案	引き続きバイオマス推進事業に取り組んでいく。				

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
	⑨	レジ袋有料化・店頭回収協力店協定業務 (ソフト事業)	スーパー、クリーニング店、ドラッグストア等の各販売店	レジ袋有料化によるマイバグ持参及び店頭回収の実施により、ごみの減量化、排出抑制を図る。	山口県と共同して、新規出店店舗及び未実施の店舗に対しての要請を推進していく。	レジ袋有料化協力店舗数：県下1,091店舗(H26.4.1現在)	0.01		0	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 大手業者は既にも実施しているが、小規模出店者に対しての要請については、ごみ袋の有料化により、お客さんが減った小売店もあり、有料化を中止したという他県他市の事例も報告されており、実情にあった慎重な対応が必要である。				B	改善案	慎重な対応が必要であり、今後、何らかの改善策を検討しつつ、業務を継続していく。			
	⑩	食育推進連絡協議業務 (ソフト事業)	周南市民	食育を推進することにより、食べ残しをなくし、ごみの減量化を図る。	食育推進に関して、ワーキング会議で意見交換を行い、各課の食育推進施策の共有を図る。	出前トークの実施により、3R及び食べ残しをなくすことを推進する。	0.1		0	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A	改善案	引き続き関連担当課でワーキング会議を実施し、食育推進を図り、ごみ減量化に繋げていく。			
	⑪	ごみ収集場所整備費補助金 (ソフト事業)	ごみステーションの管理をお願いしている自治会等	収集場所付近の環境美化及び収集業務の効率化を図る。	ごみステーションの整備に要した費用の一部を補助する。	H26 実績 整備箇所：134箇所 補助金額：2,933,972円	0.2		2,934	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A	改善案	引き続き、ごみステーションの整備に対し補助することにより、ごみステーションの環境整備を図っていく。			
	⑫	家庭ごみコンポスト化事業費補助金 (ソフト事業)	家庭においてごみコンポストを購入し、生ごみの減量化を図ろうとする市民	家庭ごみの減量化と有効利用を促進する	コンポスト化する容器の購入費の一部を補助を実施。	H26 実績 申請基数：64基 補助金額：384,697円	0.2		385	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、本制度を利用する市民を増やしていくことが必要である。				B	改善案	生ごみの減量化を図るため、市民に広報やホームページ等でPRし、引き続きコンポスト化する容器の購入補助を実施していく。			
	⑬	空缶プレスカー運行管理業務 (ソフト事業)	周南市民	資源物回収を促進し、リサイクルの推進、ごみ減量化を図る。	資源物回収団体に対し、空缶プレスカーを運行して、資源物回収を支援していく。	H26実績：延べ17件(7団体)	0.03		0	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 空缶プレスカーの老朽化が進行しているが、それなりの需要はある。恐らく、空き缶をプレスすることにより、業者がプレスする手間が省けるために、高価で引き取ってもらえるためであろうと思われる。				B	改善案	引き続き事業は継続するが、老朽化が進んでいることから、将来的には検討を要する。			
	⑭	一般廃棄物処理計画策定業務 (ソフト事業)	一般廃棄物	一般廃棄物の適正な処理を確保するため、一般廃棄物の発生量及び処理量の見込み、排出の抑制の	基本計画については、目標年次を10年先において、概ね5年ごとに改定し、実施計画については毎年策定する。	平成26年4月に平成26年度周南市一般廃棄物処理実施計画を、平成27年3月に周南市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を策定。	0.3		3,035	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A	改善案				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	⑮	使用済自動車海上輸送費補助業務 (経常的事務事業)					離島(大津島)に居住し、使用済自動車を業者に引渡そうとする市民	使用済自動車の適正かつ円滑な引渡しを促進し、使用済自動車の再資源化に寄与する。	使用済自動車排出者からの申請により、運搬に要した費用の8割を補助する。	H26年度は1件、2,792円補助	正職員
			0.03		3	否					否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	A	改善案	引き続き、申請があれば、適正に処理を行っていく。								

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
		<p>リサイクル率の向上、最終処分量の削減のため、リサイクルプラザの整備に併せて、平成22年11月より、ごみの分別を5分別から8分別に変更している。また、ごみ燃料化施設「フェニックス」の稼働停止により、新南陽・鹿野地域の可燃ごみの分別が変更になることに併せて、ごみの排出方法の簡素化を図るため、平成27年3月ごみの分別冊子(保存版)を作成し、各世帯に配布した。</p>		<p>ごみカレンダーの配布については、自治会加入を促すと同時に、HPからのダウンロード、携帯端末での「ごみの分別アプリ」の活用等を周知していく。 ・レジ袋有料化・店頭回収協力店協定業務については、実情にあった慎重な対応が必要である。</p>

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案
			3Rの推進や啓発活動の更なる取組みにより、ごみの減量化・再資源化を推進していく。 空缶プレスカーについては老朽化しており、費用対効果を検証する必要がある。	更なるごみの分別を周知するため、平成25年5月より、スマートフォンに対応したごみ分別アプリを導入した。 空缶プレスカーについては今後検討していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B
	所管課の評価通り、ごみの減量化、再資源化を推進していくためには、市民との協働が不可欠であり、啓発事業は大変重要である。今後も環境館を核として、更なる啓発に取り組んでいく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	800201
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(1)ごみの発生抑制・再使用・再資源化(3R)のさらなる推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
引き続き、ごみの減量化、再資源化を推進するために啓発事業を実施していく。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	412039	事務事業名	リサイクルプラザ施設管理事業	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 再資源化の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】 37.30%	
	推進施策の展開	○リサイクルプラザの稼働により、市内全域の資源物、粗大ごみ、燃やせないごみを効率的に処理し、再資源化を推進します。 ○廃棄物系バイオマスの効率的な利活用を推進し、利活用率90%以上を目指します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 資源ごみ等を効率的に処理することで、再資源化が推進されるとともに、最終処分量が削減される。	意図(どういう状態にしたい): 資源ごみ等を効率的に処理することで、再資源化が推進されるとともに、最終処分量が削減される。	事業の内容(手段)	○リサイクルプラザの円滑かつ適正で効率的な管理運営を行う。 ○搬入された資源ごみを適正に処理し、再資源化を図る。	【廃棄物処理対策等の取り組み】 49.90%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	搬入された資源ごみを適正に処理し、再資源化を図った。						事業費	項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	リサイクル率 H26実績:41.3%(速報値)							直接事業費	千円	333,339	401,037	390,964	392,065	392,880
事業目標	目標名	リサイクル率	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	266,375	335,914	316,943	313,103	327,880
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	327,658	399,345		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	46.8	47.4	48.0	33.3	33.4	(決算額) うち一財	千円	258,101	321,223		運輸管理委託料及び緑地維持管理委託料の増による。		
	実績値	41.4	42.0	41.3			正職員人件費	千円	15,383	4,881				
	達成度(%)	88.5%	88.6%	86.0%			人工数	人	2.10	0.66	0.85			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト		委託等の可否		
	①	リサイクルプラザ運転管理業務 (施設管理運営事業)	周南市民及び市内事業所	資源ごみの中間処理を適切かつ安定して行い、再資源化の推進、最終処分量を削減する。	運転管理業務を委託し、リサイクルプラザの適切な運営を行う。		資源化処理施設運転管理を業務委託し、毎月管理運営状況の報告を受け、適切に管理している。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価		A		改善案	引き続き、リサイクルプラザの適正な運営を実施していく。				
	②	ごみ処理手数料調定収納業務 (経常的事務事業)	周南市民及び市内事業所	リサイクルプラザに搬入されるごみの処理手数料を調定処理する。	同左		ごみ処理手数料調定収納業務。適正に処理した。		0.01		0	否	否	
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価		A		改善案	引き続き、ごみ処理手数料の調定収納業務の適正処理を実施していく。				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	リサイクルプラザごみ搬入 適正監視業務 (経常的事務事業)					許可ごみの分別の徹底及びリサイクルプラザの安全な運転を図る。	リサイクルプラザに不適物が搬入されないようごみの監視を行う。	ごみ搬入適正監視員を雇用し、許可ごみ及び持ち込みごみの不適物混入の防止に努めている。	正職員	臨時等	直接事業費
			0	3	4,733	可				可		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
A	改善案	引き続き、ごみ搬入適正監視業務を適正に実施していく。										
④	リサイクルプラザ有価物売却業務 (経常的事務事業)	市内事業所	再資源化率の向上及び最終処分場の延命化を図る。	リサイクルプラザへ搬入された廃棄物のうち、有価物として取り扱えるものを再分別し、売却業務を行う。	有価物売却量:アルミ(242t)、スチール缶(176t)、その他金属(579t)	0.1		0	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
A	改善案	引き続き、再資源化率の向上に努め、有価物売却の適正処理を実施していく。										

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成23年4月に供用を開始したが、同年10月24日に発生した火災の影響により稼働を停止。平成24年5月から部分稼働、同年9月から本稼働を開始している。運転管理業務は、供用開始から2年間は施工業者による業務委託としているが、2年間を経過したため、平成26年2月から入札による業者選定を実施した。現在は、JVによる長期包括的運転管理を実施中。	前年度までの指摘事項	リサイクルプラザの運営にあたっては、経済性、効率性も重要であるが、資源化処理施設として安心安全な運転、安定した稼働が最も重要である。委託業務に対する管理体制をしっかりと確立し、継続した適切な管理運営を行っていく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	平成26年2月からの運転管理業務について、入札により委託業者を選定し、12年2ヶ月の長期包括的業務委託契約を締結した。毎月、委託業者との定例会を開催し、稼働状況を把握し、運転管理の監視・監督を実施している。また、予算決算委員会等の場において議会に報告している。
	細事業の課題・問題点	平成26年2月から入札により業者が決定し、12年2ヶ月の長期包括的民間委託契約を締結したところであるが、安心安全な運転、安定した稼働を確保するために、定期的なモニタリング等により適正に監視・指導していく必要がある。	事業全体の課題・問題点	リサイクルプラザの運営にあたり、適正で効率的な運営を行いながら、かつ、安全で安定した運営を行っていかなければならないことから、運転管理委託業者との連携を密にし、運転状況を的確に把握し、監視・指導していく必要がある。		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	運転管理業務については、平成25年10月31日に入札を実施し、委託業者を選定している。また、安心安全な運営をするために、毎月業者との定例会を開催するなど、職員による監視・監督を行っている。	改善案	
----	---	---	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	リサイクルプラザの運営にあたっては、経済性、効率性も重要であるが、資源化処理施設として安心安全な運転、安定した稼働が最も重要である。委託業務に対する管理体制をしっかりと確立し、継続した適切な管理運営を行っていく必要がある。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	800202
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(2)効率的な廃棄物処理システムの確立等

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	平成28年度も引き続き、適正で安全な運転・施設管理を実施していく。
-------------------------------------	-----------------------------------

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者(課長)	川崎 茂昭	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事務事業コード	412041	事務事業名	資源物団体回収推進事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	○
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 再資源化の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】	37.30%
	推進施策の展開	○リサイクルプラザの稼働により、市内全域の資源物、粗大ごみ、燃やせないごみを効率的に処理し、再資源化を推進します。 ○廃棄物系バイオマスの効率的な利活用を推進し、利利用率90%以上を目指します。			25年度市民評価の満足度	【廃棄物処理対策等の取り組み】
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民で資源回収事業を自主的に実施している非営利団体	意図(どういう状態にしたい): 市民のごみ減量化・再資源化に対する意識の向上が図られるとともに、資源物の収集運搬経費が軽減できる。 資源物団体回収量(H26実績:873.4t)	事業の内容(手段)	○資源物(紙・布、金属、びん、ペットボトル)の回収を行った登録団体に対し、その回収重量に応じた報奨金(4円/kg)を交付する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	H25年度		H26年度		項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	登録団体数:140団体	⇒	145団体	実施回数:877回								⇒	952回
事業目標	目標名	資源物団体回収量	計算式	達成項目/目標項目	単位	t							
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度							
	目標値	894.0	909.0	821.0	891.0	967.0							
	実績値	821.3	843.0	873.4									
	達成度(%)	91.9%	92.7%	106.4%									
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否		
	① 資源物回収団体登録業務(ソフト事業)		資源物回収団体(自主的に活動し、営利を目的としていない団体)	資源物の回収事業を拡大し、市民の皆さんにごみの減量・資源化に対する意識を深めてもらう。	団体登録数を増やして、より一層の資源物回収の促進を図る。		H26年度登録団体数:145団体(徳山113団体、新南陽12団体、熊毛17団体、鹿野3団体)		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他	細事業評価									
			資源物回収団体登録件数が微増の状態であり、また、地域による偏りが大きい状態となっている。										
	② 資源物回収団体報奨金支払業務(ソフト事業)		資源物回収団体(自主的に活動し、営利を目的としていない団体)	資源物の回収事業を拡大し、市民の皆さんにごみの減量・資源化に対する意識を深めてもらう。	資源物回収団体に報奨金を支払うことにより、より一層の資源物回収の促進を図る。		H26年度 実施回数、報奨金実績 徳山地区:710回、2,683,076円 新南陽地区:135回、271,940円 熊毛地区:80回、504,936円 鹿野地区:27回、33,600円		0.1		0	否	否
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他	細事業評価										
		引き続き、資源物回収団体報奨金支払業務を継続し、より一層の資源物回収の促進を図っていく。											

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	制度開始以来、継続して取り組まれている団体が多く、効率的な回収で、毎年一定した資源物回収ができています。	前年度までの指摘事項	所管課評価の通り、資源物団体回収の有用性を広く市民に周知して、事業を推進していくことが必要である。	指摘事項に対する改善状況	クリーンリーダー研修会等で資源物回収制度の周知に努めている。また、市広報等を通じて、制度の有用性等を更に周知し、資源物回収を推進している。
	細事業の課題・問題点	資源物回収登録団体の数は微増の状態であり、登録団体の更なる増加に向けて、取り組んでいく必要がある。	事業全体の課題・問題点	資源物団体回収の費用効果も含めた有用性を市広報等を通じて、市民に周知することにより、資源物回収を推進していく。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	資源物団体回収の有用性を市広報等を通じて、更なる市民への周知を行い、回収する団体の増加を図っていく。	改善案	市広報や市HP等で、資源物団体回収の有用性をPRしていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価の通り、資源物団体回収の有用性を広く市民に周知して、事業を推進していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	800201
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(1)ごみの発生抑制・再使用・再資源化(3R)のさらなる推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
現在の登録団体は、子供会、PTAなどの学校関係が多く、子供を通した活動が定着していると考えられることから、まずは、学校関係団体の登録を増やすため、小中学校等と連携し、PTA・生徒会などの活動を促進するとともに、各子供会向けのチラシを配布するなど、子供会への周知を図る。また、各地域での取り組みを促進するため、クリーンリーダー研修会や自治会総会等での周知を引き続き行っていく。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者(課長)	川崎 茂昭	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事務事業コード	412043	事務事業名	リサイクルプラザ啓発施設運営事業	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) ごみの発生・排出削減の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】	37.30%
	推進施策の展開	○市民・事業者・行政それぞれが主体となり協働して、ごみの減量化と再資源化を推進するとともに、循環型社会の形成に努めます。 ○生ごみリサイクルを行う段ボールコンポストの普及、フリーマーケットの開催などにより、ごみの減量化と再資源化に努めます。			25年度市民評価の満足度	【廃棄物処理対策等の取り組み】
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び市内事業所	意図(どういう状態にしたい): 廃棄物に対する啓発促進が図られ、ごみの排出削減意識が高まる。 環境館利用者数 H26目標:3,000人	事業の内容(手段)	○環境館を会場とした「エコフェスタ」を開催し、ごみや環境問題に関する啓発を推進する。 ○施設見学を積極的に受け入れ、小学生から自治会等幅広い市民への啓発を図る。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	環境館利用者数		計算式	達成項目/目標項目		単位								人	
事業目標	目標名	環境館利用者数	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	事業費	直接事業費	千円	2,333	2,539	2,585	2,593	2,585
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			(予算額) うち一財	千円	2,332	2,538	2,584	2,581	2,584
	目標値	2,500.0	3,000.0	3,000.0	3,200.0	3,400.0			直接事業費	千円	2,158	1,947		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	1,516.0	3,381.0	3,334.0					(決算額) うち一財	千円	0	0			
	達成度(%)	60.6%	112.7%	111.1%					正職員人件費	千円	9,156	7,025			
							人工数	人	1.25	0.95	0.78				
							支出コスト	千円	決見) 11,314	決見) 8,972					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
	①	リサイクルプラザ啓発施設運営業務(ソフト事業)	周南市民	環境館を核とした啓発事業の展開により、ごみの発生・排出削減を図る。	「環境館」を適正に管理運営し、ごみ問題等環境に関する啓発活動の拠点として、事業展開をしていく。	来館者数:3,334人 施設見学者の受入及びエコフェスタの開催(H26.8.8、H27.1.31)	0.28	0.7	1,709	可	可				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 リサイクルプラザ火災及び東ソー爆発により、H24.8まで閉館し、H24.9に再開館した。平成26年度は、来館者数を維持し、目標を達成した。しかし、土曜日・日曜日・祝日の来館者が少ない現状である。				B	改善案	土・日・祝日は工場が稼働していないため、実際の作業を見学することができない。再生品展示などを行い、土・日・祝日の来館者の増加を図っていく必要がある。							
	②	リサイクルプラザ啓発施設運営用品の発注(経常的事務事業)	市内業者	環境館を適切に運営していく。	環境館の運営に必要な消耗品や備品等を計画的に発注する。	予算を管理し、適切に消耗品等を購入することができた。	0.15		238	否	否				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし				A	改善案	引き続き、啓発施設管理用品について計画的に発注していく。								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	正職員	臨時等					直接事業費	委託	臨時			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③	BDF設備保守管理業務	周南市民	リサイクル啓発事業の一環として、食用の廃油からバイオディーゼル燃料を精製する。	年1回の定期的保守(試運転を含む。)	平成26年度は未実施。	0.01		0	可	可	
		(施設管理運営事業)										
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 実際にBDFの精製過程が見れる訳ではない。また、廃油の性状が限定される(植物油かつ汚れの軽いもの)ため、実用的な使用も難しい。過去に、不燃物処分場のトラックに使用して故障した経緯もある。更に、副産物であるグリセリンの処分費用がかかる。					B	改善案	廃油の性状が一定しており、恒常的に一定量が確保できれば、故障のリスクはあるが、ペガサスで使用する市所有フォークリフトでの使用は可能。その際は、グリセリン処分費用の予算化が必要。			
		④	リサイクルプラザ啓発施設イベント業務 (ソフト事業)	周南市民	市民の方の廃棄物に対する啓発促進を図る。	入館者数(イベント開催時)の目標達成			H26.8.8(金)「第5回周南市エコフェスタ」開催。入館者180名。H27.1.31(土)「第6回周南市エコフェスタ」開催。入館者300名。目標達成。	0.51	0.3	0
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成24年9月に環境館を再開館。平成26年度は8月8日(金)と1月31日(土)にイベントを開催。夏休みは小学生を対象として、1月は対象者を限定せずそれぞれ講座教室を開催したが、ほぼ定員いっぱいとなった。中古家具の抽選会のHPでの周知及びフリーペーパーへの情報提供、並びにFMラジオ番組からの電話取材等により、来場者の増加につながった。					A	改善案	平成27年度も年2回の開催を予定している。				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	啓発施設である「環境館」は、平成23年6月に開館したが、リサイクルプラザ火災及び東ソー爆発により、平成23年10月24日から平成24年8月31日まで閉館となった。	前年度までの指摘事項	土日・祝日の来館者が少ない状況であり、再生品の展示等に取り組む必要がある。 議会:休館期間を除いて、来館者数は増加しているが、「環境館」の平成25年度来館者3,381人は余りに少ない。環境館の利用頻度を上げるためには市内の小・中学校や自治会等への案内や修学旅行、研修・視察旅行の受け入れなど積極的な来館へのPRをすべきである。また、エコフェスタ開催は会場を環境館に限定せず、(1)出張でのイベントなどにより環境についての啓発を行う。(2)環境館の利用促進を促す幅広いPRを行う等、ごみの排出削減意識の高揚を図るため、事業内容の見直しや事業PRを積極的に進めるべきである。	指摘事項に対する改善状況	○市内小・中学校、自治会等からの施設見学等を積極的に受け入れていくとともに、市広報、DVD作成、クリーンリーダー研修会等を通じて、来館へのPRを実施。 ○自転車リユース品や粗大ごみリユース品の常設展示を行っている。 ○エコフェスタの開催やバックヤードツアーの拡充を実施し、平成27年度は、環境に関するイベントにも参加して、環境についての啓発に努めていく予定。
	細事業の課題・問題点	平日の施設見学者は、学校、自治会等を中心に申し込みをいただいているが、エコフェスタ開催時以外の土・日・祝日の来館者が少ない状況である。	事業全体の課題・問題点	環境館の来館者数を増加させるため、イベントの開催や再生品の常設展示などに取り組んでいくことが必要である。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	イベント内容の充実を図り、魅力あるエコフェスタを継続して開催するとともに、環境館を核とした鮮度の高い情報発信を行うことにより、環境館の利用促進を図る。	改善案	今後も、積極的に施設見学を受け入れていくとともに、イベントの開催、再生品の常設展示などを行い、来館者の増加を図っていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 土日・祝日の来館者の増を目指し、再生品の展示等に取り組む必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	800203
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(3)循環型社会づくりに向けた環境教育・啓発の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
体験や交流を通じた啓発促進を図るため、これまで以上に積極的に外に出向いたり、エコフェスタ開催時のみ実施している「不用品無料抽選会」を常設展示とする等、開催場所や内容、展示方法の見直し・充実等を図ることにより、多くの市民が環境館に来館される取組みを実施していく。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	413011	事務事業名	し尿処理場施設管理事業	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 一般廃棄物の適正処理の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】	37.30%
	推進施策の展開	○老朽化が進むし尿処理場の早急な整備を図り、安定的な生活排水処理に努めます。 ○海面埋立事業を活用した将来の廃棄物処理システムの構築を推進するとともに、既存の最終処分場の延命化に努めます。			25年度市民評価の満足度	【廃棄物処理対策等の取り組み】
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 徳山・新南陽・鹿野地区の市民及び事業所の汲取りし尿及び浄化槽汚泥	意図(どういう状態にしたい): 適正に前処理することで、生活環境の保全を行なうとともに公衆衛生の向上を図る。	事業の内容(手段)	○周南市衛生センターを適正に維持管理運営を行い、し尿汲取り業者が持ち込んだ、徳山・新南陽・鹿野地域の汲取りし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理し、下水道管へ圧送する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	衛生センターで、し尿7,271kℓ、浄化槽汚泥10,769kℓを前処理、夜市川からの取水で希釈し、130,353m ³ を下水道へ圧送した。								直接事業費	千円	28,191	161,937	173,958	152,772
事業目標	目標名	し尿及び浄化槽汚泥の処理量	計算式	達成項目/目標項目		単位	kl	(予算額) うち一財	千円	28,191	161,937	160,958	152,772	161,937
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	26,361	156,704		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	18,696.0	17,509.0	16,322.0	15,132.0	13,950.0		(決算額) うち一財	千円	26,361	156,704		夜市川周防高潮対策工事に伴う取水施設移設工事の調査・設計委託料の減	
	実績値	18,803.0	18,331.0	18,040.0				正職員人件費	千円	9,889	8,874			
	達成度(%)	99.4%	95.5%	90.5%				人工数	人	1.35	1.20	1.35		
								支出コスト	千円	決見) 36,250	決見) 165,578			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①		し尿処理場施設管理業務 (施設管理運営事業)	し尿収集運搬許可業者	衛生センターの円滑かつ適正で効率的な管理を行い、し尿・浄化槽汚泥を適切に処理する。	し尿・浄化槽汚泥の受入れ・処理、設備保守等を行い、周辺環境に配慮した適切な運営を行う。 終日の運転管理を外部委託し円滑かつ適正で効率的な管理を行い適正に処理した。 H26処理量:18,040kℓ	0.6	146,647	可	可				
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 夜市川からの希釈水取水量が当初より減っており、処理水の水质に影響を及ぼす可能性がある。 施設・設備が老朽化しているため、周辺環境に配慮したきめ細やかな運転・管理が必要である。			B	改善案	中央浄化センターで市内全域のし尿を処理する計画があり、実現すれば不要になる施設であるが、周辺環境に配慮した適切な運営をしていく。処理水の水质に関しては基準値を超えないよう監視し、合わせて運転等も十分注意して行う。						
	②		し尿処理場施設管理用品の発注 (施設管理運営事業)	脱臭用薬剤・消毒剤等販売業者	衛生センターの円滑かつ適正で効率的な管理を行うため、し尿・浄化槽汚泥を適切に処理する。	脱臭用薬剤・消毒剤等を計画的に購入し、適切な運営を行う。 運営に必要な薬剤等消耗品を計画的に購入した。 苛性ソーダ購入(固形2,050kg、液体4,000kg)	0.21	1,469	否	否				
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 最少の量による効率的な用品(主に薬品)の活用。			A	改善案	薬品量の使用量の記録を取り、処理との関係を把握し、最適な処理を実施する。							

	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	事業の分類						正職員	臨時等		直接事業費	委託	臨時
事業を構成する細事業【26年度実績】	③	し尿処理場施設施設等修繕業務 (施設管理運営事業)	修繕業者等	衛生センターの維持保全を行い、周辺環境を配慮した適切な運営を行う。	日常点検を実施し、不具合箇所の原因を調査し、速やかに修理を行っていく。	破砕ポンプ・前処理設備・ドラムスクリーン設備等の点検整備を実施した。	0.11		8,588	可	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 し尿・浄化槽汚泥の前処理ができなくなるよう、迅速に修繕する。					細事業評価 A 改善案 引き続き、し尿処理場施設等修繕が必要な場合は速やかに修理を行っていく。					
	④	し尿処理場施設施設等修繕工事業務 (施設管理運営事業)	前処理設備等点検整備(大規模修繕)	衛生センターの維持保全を行ない、周辺環境を配慮した適切な運営を行う。	日常の保守点検を実施し、計画的な整備を行っていく。	平成26年度は修繕実績なし。	0.12		0	可	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 し尿・浄化槽汚泥の前処理ができなくなるよう、迅速に修繕する。					細事業評価 A 改善案 引き続き、し尿処理場施設等修繕工事について計画的な整備を行っていく。					
	⑤	し尿処理場ポンプ場移設協議 (施設管理運営事業)	上下水道局、周南土木建築事務所(県)、河川港湾課	夜市川高潮対策事業に伴いポンプ場が移転対象となったため、事業主体である県、将来的なし尿等受入先である上下水道局及び工事主管課である河川港湾課との協議を行う。	中央浄化センターへの切替時期をできるだけ明確にし、ポンプ場移設に係る補償等について具体的方策を決定する。	上下水道局、周南土木建築事務所(県)、河川港湾課との協議を適宜行った。	0.1		0	可	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 中央浄化センターへの切替時期がはっきりしないため、県とのポンプ場移転協議が進まない。					細事業評価 B 改善案 引き続き、関係各所との協議を進める。移転するポンプ場については、より安価で維持経費がかからないものを検討する。					
	⑥	夜市川潮止堰操作負担金 (施設管理運営事業)	県企業局	衛生センターのし尿処理用水・希釈水を確保し、適切な運営を行う。	夜市川の水利権に伴い、潮止堰操作に係る応分の負担金を支出する。 水利権水量: 510,883 m ³	夜市川河川改修中に伴い負担金額協議中のため、負担金支出なし。 H26取水量実績: 112,313 m ³	0.06		0	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 県の河川改修工事により、現在の取水ポンプ場を移設する必要がある。					細事業評価 B 改善案 事業に支障が無いように、県と協議を進めていく。					
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価 <input type="checkbox"/> 改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成22年度に衛生センターの能力増強工事を実施し、平成23年度より新南陽、鹿野地域に加え、徳山地域のし尿・浄化槽汚泥も処理している。徳山中央浄化センターの施設整備が完了後、市内の全域のし尿・浄化槽汚泥の全量を徳山中央浄化センターで処理する予定になっている。	前年度までの指摘事項	所管課の評価通り、現有施設は臨時的な施設であり、処理施設の統合を視野に入れ、上下水道局と協議を進めて、整備時期等を決定していかなければならない。	指摘事項に対する改善状況	徳山中央浄化センター再構築事業が検討されており、上下水道局と協議し、整備時期等を検討する。
	細事業の課題・問題点	衛生センターの機械・設備等は老朽化が著しい。		事業全体の課題・問題点		現在、衛生センターでは、平成22年度に整備し、徳山、新南陽、鹿野地域のし尿・浄化槽汚泥処理を行っている。しかしながら、現有施設は徳山中央浄化センター再構築に伴う臨時的な施設として整備したものであり、旧処理設備は、昭和37年4月に供用開始し、昭和57年9月に改造し、現在は老朽化により使用していない。また、平成21年12月に、周辺住民に対しても、徳山中央浄化センター再構築事業完了後は、衛生センターを廃止することで説明し、同意を得ている。徳山中央浄化センター再構築事業が進められており、上下水道局と協議して、整備時期等を決定していく必要がある。

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	現有施設は、徳山中央浄化センター再構築事業に伴い、臨時的に整備した施設であり、再構築事業完了までは、当施設で安定した運営・管理を行う。	改善案	今後も、上下水道局と整備時期等の協議を進めていく。
----	---	---	------	---	-----	---------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課の評価通り、現有施設は臨時的な施設であり、処理施設の統合を視野に入れ、上下水道局と協議を進めて、整備時期等を決定していかなければならない。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600506
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(6)汚水処理施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

衛生センターは臨時的な施設であり、処理施設の統合(徳山中央浄化センター再構築事業)を視野に、上下水道局と協議を進め、整備時期等を明確にしていく。
--

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	413014	事務事業名	一部事務組合負担金(し尿処理施設分)	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 一般廃棄物の適正処理の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】	37.30%
	推進施策の展開	○老朽化が進むし尿処理場の早急な整備を図り、安定的な生活排水処理に努めます。 ○海面埋立事業を活用した将来の廃棄物処理システムの構築を推進するとともに、既存の最終処分場の延命化に努めます。			25年度市民評価の満足度	【廃棄物処理対策等の取り組み】
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 玖西環境衛生組合	意図(どういう状態にしたい): 熊毛地域の汲取りし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することで、生活環境の保全及び公衆衛生が確保される。	事業の内容(手段)	○真水苑において、熊毛地域の汲取りし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	玖西環境衛生組合への負担金を支払った。 玖西汚泥再生処理施設「真水苑」で、関係市町(周南市(熊毛地域)、岩国市(周東町、玖珂町))の区域におけるし尿及び浄化槽汚泥を共同処理した。 【H26し尿・浄化槽汚泥処理量】 し尿670.8kℓ、浄化槽汚泥1,541.7kℓ 合計2,212.5kℓ						項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	66,526	68,331	71,543	71,108								61,000
事業目標	目標名	し尿及び浄化槽汚泥処理量	計算式	達成項目/目標項目	単位	kl	(予算額)	うち一財	千円	66,526	68,331	71,543	71,108	61,000
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	64,051	66,639		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	2,307.0	2,278.0	2,252.0	2,223.0	2,194.0	(決算額)	うち一財	千円	64,051	66,639			
	実績値	2,415.1	2,351.6	2,212.5			正職員人件費	千円	879	1,479				
	達成度(%)	95.5%	96.9%	101.8%			人工数	人	0.12	0.20	0.07			
							支出コスト	千円	決見) 64,930	決見) 68,118				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	玖西環境衛生組合負担金 (経常的事務事業)	玖西環境衛生組合	熊毛地域の汲取りし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全および公衆衛生の向上を図る。	玖西環境衛生組合運営に対し、1/3の負担割合で負担金を支払う。	玖西環境衛生組合負担金199,917千円に対し、負担割合(1/3)に応じた負担金を支出した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 引き続き、玖西環境整備組合への負担金の支払を行っていく。						細事業評価							
	②	玖西環境衛生組合会議 (ソフト事業)	玖西環境衛生組合	熊毛地域の汲取りし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。	組合と構成市により、組合議会議案や組合運営について、協議し、方針を決定する。	組合議会議案や組合運営について、協議した。	0.1		0		否	否		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 玖西汚泥再生処理施設「真水苑」は、地元の同意により平成29年度末までの使用となっており、平成30年度以降の運営方針を決定していく必要がある。						細事業評価							
						A	改善案	本市においては、徳山中央浄化センター再構築事業に併せて、し尿・浄化槽汚泥処理施設の統合を検討しており、再構築事業の進捗状況により、平成30年度以降の方針を決定していく。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	玖西汚泥再生処理施設「真水苑」は、地元の同意により平成29年度末までの使用となっており、平成30年度以降の運営方針を決定していく必要がある。	前年度までの指摘事項	所管課の評価通り、平成30年度以降の運営について、岩国市の意向及び本市の徳山中央浄化センター再構築事業の見直し状況を踏まえ、方針を決定していく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	徳山中央浄化センター再構築事業の進捗を踏まえ、一部事務組合での処理の方向性を決定していく。
	細事業の課題・問題点	衛生センターの機械・設備等は老朽化が著しい。 平成30年度以降の運営方針の決定。	事業全体の課題・問題点	徳山中央浄化センター再構築事業が検討されており、再構築事業の進捗を踏まえて、処理の方向性を決定していく必要がある。		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	平成30年度以降の運営にあたり、構成市である岩国市の意向、本市における徳山中央浄化センター再構築事業の進捗状況を踏まえて、整備時期等を決定していく。	改善案	今後も、上下水道局と整備時期等の協議を進めていく。
----	---	---	------	--	-----	---------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課の評価通り、平成30年度以降の運営について、岩国市の意向及び本市の徳山中央浄化センター再構築事業の進捗状況を踏まえ、整備時期等を決定していく必要がある。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600506
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(6)汚水処理施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

玖西環境衛生組合との連携を密にして、引き続き効率的で安定した運営を図っていくとともに、徳山中央浄化センター再構築事業の進捗状況を勘案しながら、今後の方針を決定していく。
--

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	415008	事務事業名	環境衛生団体活動事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 循環型社会づくりに向けた教育の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】 37.30%	
	推進施策の展開	○環境衛生推進団体や各自治会と連携した啓発事業及びクリーンリーダー制度の充実により、循環型社会の形成においてリーダーとなる人材の育成や団体等への支援に努めます。 ○リサイクルプラザに再生工房、体験工房、展示場など市民参加型の啓発施設を併設し、市民の環境に対する意識の向上に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び市内事業所	意図(どういう状態にしたい): 活動を支援することで、住みよい生活環境づくりを主体的に、また組織的に推進することに寄与できる。	事業の内容(手段)	○快適環境推進協議会に対する活動を支援する。 ○地域におけるボランティア清掃に対して、ごみ袋を配布し、事業を推進する。	【廃棄物処理対策等の取り組み】 49.90%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		自治会、団体等が行う清掃奉仕活動に対し、指定ごみ袋の交付やごみの収集運搬を行った。 環境衛生団体の活動を支援するため、補助金を交付した。 H26指定ごみ袋交付枚数:69,939枚				事業費	項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
【26年度】							直接事業費	千円	7,037	6,510	6,413	7,082	6,510			
事業目標	目標名	指定ごみ袋交付枚数	計算式	達成項目/目標項目		単位	枚	(予算額) うち一財	千円	1,451	1,405	4,913	5,582	1,405		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	4,978	5,317	対27年度増減理由 対28年度増減理由					
	目標値	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	(決算額) うち一財	千円	0	0						
	実績値	74,254.0	83,141.0	69,939.0			正職員人件費	千円	3,663	5,103						
	達成度(%)	101.7%	113.9%	95.8%			人工数	人	0.50	0.69	0.35					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否			
	①	周南市快適環境づくり推進協議会事務 (ソフト事業)	周南市民	当団体の活動を支援することで、住みよい生活環境作りを自主的に、また組織的に推進する。		周南市快適環境づくり推進協議会の事業を支援していく。		周南市快適環境づくり推進協議会の役員会、総会、先進地視察、県内行事への参加を支援した。			正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
			□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価											
	細事業の課題							A	改善案	引き続き、周南市快適環境づくり推進協議会の活動を支援していく。						
	②	徳山環境衛生連合会事務 (ソフト事業)	周南市民	当団体の活動を支援することで、住みよい生活環境作りを自主的に、また組織的に推進する。		徳山環境衛生連合会の活動を支援する。		徳山環境衛生連合会の役員会、支部総会、各種行事への参加等を支援した。			0.13		0	否	否	
細事業の課題			□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価											
								A	改善案	引き続き、徳山環境衛生連合会の活動を支援していく。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③ 新南陽環境衛生自治会連 合会事務 (ソフト事業)	周南市民	当団体の活動を支援する ことで、住みよい生活環境 作りを自主的に、また組織 的に推進する。	新南陽環境衛生自治会連合会の 活動を支援する。	新南陽環境衛生自治会連合会の 役員会、総会、各種行事への参加 等を支援した。	0.1		0	否	否	
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価 A 改善案 引き続き、新南陽環境衛生自治会連合会の活動を支援していく。						
	④ 清掃奉仕活動用ごみ袋交 付事務 (ソフト事業)	周南市民及び市内事業所	清掃奉仕活動を行う団体 等にごみ袋を交付し、地 域の環境美化及び収集業 務の効率化を図る。	ボランティアで清掃奉仕活動を行う 市民又は団体に対して、ごみ袋や 土のう袋を交付する。	H26ごみ袋交付枚数:69,939枚(指 定燃やせるごみ袋48,686枚、土のう 袋21,253枚)	0.1		868	否	否	
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価 A 改善案 引き続き、ボランティアで清掃奉仕活動を行う市民又は団体に対してご み袋を交付していく。						
	⑤ 環境衛生推進協議会補助 金 (ソフト事業)	周南市民	当団体の活動を支援する ことで、住みよい生活環境 作りを自主的に、また組織 的に推進する。	市快適環境づくり推進協議会に対 する補助金を支出する。	周南市快適環境づくり推進協議会 に対する補助金を支出した。	0.07		1,120	否	否	
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価 A 改善案 引き続き、環境衛生推進協議会補助金を交付していく。						
	⑥ もやいで進めるきれいなま ちづくり推進事業 (ソフト事業)	周南市民及び市内事業所	市民、事業者、行政が一 体となって、一人ひとりの 自覚のもと、ごみのないき れいなまちづくりを推進す る。	環境美化活動を市全体に広げて、 ごみのない美しいまちを目指す。		0.15		3,328	否	否	
細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価 A 改善案 今後も引き続き、関連担当課で事業を実施し、ごみのないきれいなまち づくりを進めていく。							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	毎年、多くの市民の方が、清掃奉仕活動を行われている。	前年度までの指摘事項	ごみ発生・排出量削減、再資源化は、市民との協働が不可欠であり、今後も環境衛生団体との連携を密にして取り組んでいくことが重要である。	指摘事項に対する改善状況	引き続き、環境推進団体に対し補助金を交付するとともに、市民の奉仕活動に対して、ごみ袋の交付やごみ収集運搬など実施していく。
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	特になし。	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	現行のまま継続して、事業を推進していく。	改善案	
----	---	---	------	----------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	ごみ発生・排出量削減、再資源化は、市民との協働が不可欠であり、今後も環境衛生団体との連携を密にして取り組んでいくことが重要である。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	800203
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(3)循環型社会づくりに向けた環境教育・啓発の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
平成28年度も引き続き、環境衛生団体との連携を密にして、適正に事業を実施していく。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	417005	事務事業名	清掃業務管理事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 一般廃棄物の適正処理の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】 37.30%	
	推進施策の展開	○老朽化が進むし尿処理場の早急な整備を図り、安定的な生活排水処理に努めます。 ○海面埋立事業を活用した将来の廃棄物処理システムの構築を推進するとともに、既存の最終処分場の延命化に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び市内事業所	意図(どういう状態にしたい): 清掃業務の効率化及び市民サービスの向上を図ることが出来る。	事業の内容 (手段)	○清掃業務全般にわたる管理業務を行う。		
				【廃棄物処理対策等の取り組み】		49.90%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		項目				単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)					
【26年度】		清掃業務全般にわたる管理業務を行った。														
事業目標	目標名	一般廃棄物処理業等許可業者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	業者	事業費									
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,643	4,828	5,006	6,262	5,006			
	目標値	128.0	128.0	118.0	118.0	118.0	(予算額) うち一財	千円	2,374	4,464	4,769	5,860	4,769			
	実績値	126.0	126.0	118.0			直接事業費	千円	2,388	4,578		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	達成度(%)	101.6%	101.6%	100.0%			(決算額) うち一財	千円	2,129	4,171		労務賃金(事務補助1名)の増による。				
						人工数	人	2.87	2.52	2.67						
						支出コスト	千円	決見) 23,411	決見) 23,213							
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	① 一般廃棄物処理業等許可業務 (ソフト事業)		市内事業所		一般廃棄物処理業について、事業所からの可否を判断し、一般廃棄物の適正処理を図る。		一般廃棄物収集運搬、処分、し尿収集運搬、浄化槽清掃及び汚泥収集運搬の業の許可申請に係る審査を行い、許可証を交付する。		一般廃棄物許可業者数:118 H26申請件数:74件(運搬66、処分業5、し尿1、浄化槽汚泥1、浄化槽清掃1)、変更届件数:22件		0.18		0		否 否	
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		引き続き、一般廃棄物の適正処理を実施していく。		A		改善案							
	② 一般廃棄物域外処理業務 (経常的事務事業)		他市町村		廃棄物処理及び清掃に関する法律施行令第4条第9号の規定による域外処理通知による処理状況把握		廃棄物処理及び清掃に関する法律施行令第4条第9号の規定による域外処理通知の受理及び発送		域外搬入通知受理件数:24件 域外搬入通知発送件数:3件(内訳:美祢市、宇部市、下関市)		0.1		0		否 否	
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		引き続き、一般廃棄物域外処理業務の適正処理を実施していく。		A		改善案							

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③ 清掃事務所管理業務 (経常的事務事業)	周南市民	ごみ収集業務が計画的かつ効率的に運営され、市民の生活環境の向上を図る。	収集車配車計画を作成し、定期収集や粗大ごみ回収、違反ごみ回収等を効率的に実施していく。	各収集車配車計画の作成 日誌等報告点検 業務検討委員会 1回開催	0.4	0.8	4,239	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ごみステーションの新設申請が多く、ごみステーションが増加しており、回収効率等を考慮した配車等の対応が必要である。			B	改善案	細事業評価 ごみステーションの新設や粗大ごみの収集予定、定期収集の地区別排出予想を基に、適宜対応していく。			
	④ ごみステーション管理業務 (ソフト事業)	周南市民	適正、確実な定期収集を行い、生活環境の保全を図る。	ごみステーションの新設、移設、廃止等の申請により、現地確認等を実施し、ステーションを把握する。	ゴミステーション申請業務 受付143件、新設40件、移設22件、 廃止11件、その他70件	0.45		0	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 正確・確実なごみの定期収集を行っていくため、ゴミステーションの新設、移設、廃止等を常に正確に把握していくことが必要である。			A	改善案	細事業評価			
	⑤ 開発行為事前協議業務 (ソフト事業)	開発行為業者	適正、確実な定期収集を行い、生活環境の保全を図る。	開発に伴う新規のごみステーションについて、位置及び形態について、現地確認、承認を行う。	H26開発行為に係る協議件数 申請12件	0.2		0	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし			A	改善案	細事業評価 ごみステーションの新設や粗大ごみの収集予定、定期収集の地区別排出予想を基に、適宜対応していく。			
	⑥ 周南安全運転管理者協議会負担金 (ソフト事業)	職員	職員に対し交通安全思想の普及を徹底し、業務中の交通事故を抑制する。	安全運転管理者講習会に出席するとともに、交通安全について、朝礼等で、職員に周知徹底する。	安全運転管理者講習会出席 朝礼等注意喚起 始業前点検、終業後点検	0.01		12	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし			A	改善案	細事業評価			
	⑦ 電波利用負担金 (ソフト事業)	職員	無線機等の車載連絡手段を使用することで、ごみ収集業務等の効率的な業務の遂行を図る。	収集車へ無線機等の車載連絡手段により、情報を共有し、収集車両の迅速な手配を行う。	無線数 収集車(軽トラ含む)15台、連絡車1台、本部1台 合計17台	0.01		8	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 無線は全車一斉受信ができ、周辺車両等の応援体制も円滑に行われているが、車載のため車外での作業中は使用ができない。個別の連絡については、携帯電話との併用で対応している。			A	改善案	細事業評価			
⑧ 全国都市清掃会議負担金 (ソフト事業)		清掃行政について、情報収集や関係機関への要望等を行い効率的かつ効果的な対応を図る。	全国都市清掃会議会報等により、ごみ処理施策に対する全国の情報を収集する。	総会開催(H26.5.22)北海道	0.02		116	否	否	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 周南市で直面している課題・問題点について、全国都市清掃会議を通じて情報収集や要望等の提案を行い、有効に活用していかなければならない。関係資料等を利活用し、情報収集に取り組む。			A	改善案	細事業評価				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
	⑨	全国都市清掃会議中国・四国地区協議会負担金 (ソフト事業)		中・四国の地方公共団体が持つ共通課題について、連携を図り、事業の円滑な推進を図る。	中・四国の地方公共団体が持つ共通の課題について、連携を図り、事業の円滑な推進を図る。	総会開催(H26.4.24)岡山県施設見学会(H26.4.25)岡山県実務研修会(H27.1.30)愛媛県	0.01		0	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 周南市で直面している課題・問題点について、全国都市清掃会議中国・四国地区協議会を通じて情報収集や要望等の提案を行い、有効に活用していかなければならない。関係資料等を利活用し、情報収集に取り組む。				細事業評価					
	⑩	一般廃棄物処理計画策定業務 (ソフト事業)	一般廃棄物	一般廃棄物の適正な処理を確保するため、一般廃棄物の発生量及び処理量の見込み、排出の抑制のための方策に関する事項等を一般廃棄物処理計画に定める。	基本計画については、目標年次を10年先において、概ね5年ごとに改定し、実施計画については毎年策定する。	平成26年4月に平成26年度周南市一般廃棄物処理実施計画を、平成27年3月に周南市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を策定。	0.3		3,035	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし				細事業評価					
	⑪	ごみ量の集計・調査・回答 (経常的事務事業)	ごみ全般	ごみ量を把握するとともに、傾向を分析し、施策に反映させていく。	各施設におけるごみの搬入量及び搬出量を把握し、多角的に分析し、ごみ処理状況を把握する。	各年度のごみ搬入・処理量、リサイクル率等を集計、把握し、調査・照会に回答するほか、市民に対する啓発資料として活用している。	0.2		0	否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし				細事業評価					
	⑫	一般廃棄物事業実態調査 (ソフト事業)	ごみ全般	市における廃棄物処理事業の実態を把握し、国の一般廃棄物処理行政施策の基礎資料とする。	一般廃棄物処理に係る収集区分・方法、処理実施形態・量、処理手数料、従事者数、処理経費、処理施設等集計把握する。	毎年10月、一般廃棄物処理状況調査票に基づき、記載提出している。	0.2		0	否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし				細事業評価					
	⑬	事業用大規模建築物所有者廃棄物減量計画 (ソフト事業)	事業用大規模建物所有者等	事業者に対し、廃棄物削減計画書を提出させ、ごみ減量化や排出抑制を図る。	廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第11条の規定により、事業用大規模建築物所有者等に対して、処理責任者を定め、廃棄物の削減計画の提出を依頼する。	H26年度実績 対象物件:64件(特定建築物及び大規模小売店舗) 提出件数:62件	0.1		0	否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし				細事業評価					

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否			
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	⑭ エネルギーリサイクル共同研究開発業務 (ソフト事業)	市で収集・分別されたプラスチック類	一般廃棄物の処理コスト安定、リサイクル率向上、最終処分量の削減を図る。	プラスチック類をセメント製造施設で燃料エネルギーとしてリサイクルする。	H26年度搬出量:698t その他プラ(334t)、収集袋成形品(178t)、容プラ(186t)	0.1		0	否	可		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし			細事業評価							
	⑮ (ソフト事業)	合法法対象事業者	合法法に基づく対象事業者に対して、支援を行い、事業者の経営の安定、従業員の雇用確保等を行う。	合法法に基づき、合理化事業計画を5年毎に見直している。 見直し年度:平成26年度	組合との協議の結果、H26年度を始期とする新たな合理化事業計画を策定済。	0.14		0	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 現合理化事業計画の期間は平成21年度から平成25年度となっており、平成25年度に、平成26次年度以降5年間の事業計画を策定した。			細事業評価							
	⑯ (ソフト事業)	関係市町村	県下の市町村等における廃棄物処理施設の整備を効果的に促進し、廃棄物の円滑かつ適正処理を行う事により、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与する。	国に対して、廃棄物処理施設に関する陳情、請願等や廃棄物処理施設整備費国庫補助金等に関する市町村間の情報交換等の事業を行う。	・H23以降、負担金支払いなし。 ・H25、H26年度は総会の開催実績なし。	0		0	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 協議会の繰越金が30%以上あるため、H23以降は、負担金の徴収を行っていない(市長会での取決めに基づく)。H24までは、毎年、総会を開催していたが、H25、H26は総会の開催実績なし。H26年度については、防府クリーンセンターの見学会を、本協議会の勉強会として開催した。			細事業評価							
	⑰ (経常的事務事業)	日本容器包装リサイクル協会	ペットボトル・容器包装プラスチック・びんを適正に処理し、資源の再資源化を図る。	日本容器包装リサイクル協会に対し、搬出量に応じた負担金を支出する。	H26負担金実績 ビン:312t(負担金203,432円) ペットボトル:303t(負担金0円) 容プラ:2,064,560t(負担金0円)	0.1		203	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし。			細事業評価							
							A	改善案	引き続き、日本容器包装リサイクル協会に対する負担金の支出を実施する。			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	リサイクルプラザ稼働に合わせて、清掃事務所を移転し、平成24年3月には、リサイクル推進課も本庁から移転している。	前年度までの指摘事項	所管課評価の通り、事業を推進されたい。	指摘事項に対する改善状況	引き続き、効率的な業務運営に努めている。
	細事業の課題・問題点	ごみステーションの新設申請が多く、ごみステーションが増加しており、回収効率等を考慮した配車等の対応が必要である。	事業全体の課題・問題点	引き続き、効率的な業務運営に努めていく。		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	引き続き、効率的な業務運営を行っていく。	改善案	特になし。
----	---	---	------	----------------------	-----	-------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課評価の通り、事業を推進されたい。
----	---	---------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	800201
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(1)ごみの発生抑制・再使用・再資源化(3R)のさらなる推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

平成27年度に引き続き、効率的な業務運営を実施していく。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	417008	事務事業名	ごみ収集運搬事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 一般廃棄物の適正処理の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】 37.30%	
	推進施策の展開	○老朽化が進むし尿処理場の早急な整備を図り、安定的な生活排水処理に努めます。 ○海面埋立事業を活用した将来の廃棄物処理システムの構築を推進するとともに、既存の最終処分場の延命化に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び市内事業所	意図(どういう状態にしたい): 生活環境の保全及び公衆衛生が確保できる。	事業の内容(手段)	○ごみ(可燃物・不燃物)・資源物の収集を委託及び直営で行う。 ○市内の不法投棄物を処理する。 ○不燃ごみ・資源物を適正に処理する。	【廃棄物処理対策等の取り組み】 49.90%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	適正に排出されたごみと資源物について、円滑に収集運搬を行った。								直接事業費	千円	683,704	719,869	751,914	790,995
事業目標	目標名	直営の収集戸数割合	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	651,327	686,385	721,012	760,944	755,626
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	661,741	702,809		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8		(決算額) うち一財	千円	622,228	672,680		資源物処理委託料等の増による。	
	実績値	12.8	12.8	12.8				正職員人件費	千円	135,000	133,702			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				人工数	人	18.43	18.08	18.09		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①	使用済乾電池等運搬・処理・処分業務 (ソフト事業)	周南市民及び市内事業所	効率的かつ適正なごみ処理を行うことで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	市内の使用済乾電池、蛍光灯の運搬・処理・処分を業者委託により、適正に処理する。	H26処理量 乾電池:27t 蛍光灯:9t	正職員	臨時等	4,255	可	否			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 引き続き、市内の使用済乾電池等の運搬・処理・処分の業者委託の管理の徹底を図る。						細事業評価		A	改善案	引き続き、市内の使用済乾電池等の運搬・処理・処分を業者委託により適正に処理していく。			
	②	ごみ収集運搬の委託 (ソフト事業)	周南市民及び市内事業所	一般家庭から排出された生活ごみの計画的かつ安定的な収集運搬により生活環境の保全を図る。	一般家庭から排出された生活ごみ「可燃・不燃・資源物」を業者委託により、計画的かつ安定的に収集運搬する。	定期収集委託率:87.2%	正職員	臨時等	672,839	可	否			
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 引き続き、市内のごみの収集・運搬の業者委託の管理の徹底を図る。						細事業評価		A	改善案	引き続き、市内のごみの収集・運搬の業者委託の管理の徹底を図っていく。				

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
③	ごみ処理の委託 (ソフト事業)		周南市民及び市内事業所	効率的かつ適正なごみ処理を行うことで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	土日祝日における小動物死骸処理及びリサイクルプラザにおける処理残渣処分を業者に委託し、適正に処理する。	H26実績 小動物死骸処理件数:105件 びん残渣処理量:782t	0.1		10,584	可	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 引き続き、市内のごみの処理の業者委託の管理の徹底を図る。			細事業評価 A 改善案 引き続き、市内のごみの処理の業者委託の管理の徹底を図っていく。					
④	ごみ収集運搬業務 (ソフト事業)		周南市民(一般家庭)	一般家庭から排出された生活ごみの計画的かつ安定的な収集運搬により生活環境の保全を図る。	一般家庭から排出された生活ごみ「可燃・不燃・資源物」を計画的かつ安定的に収集運搬する。	直営地区 リサイクルプラザ搬入量 1,203,240kg フェニックス搬入量 26,060kg	8.12		746	可	可
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ゴミステーションへの不法投棄及び違反ゴミ(ごみ出し日の違い、指定場所違い、無分別及び分別誤り)の対策			細事業評価 B 改善案 自治会と協力し不法投棄防止看板の設置や自治会役員による再分別及び違反ごみの不回収による注意喚起。					
⑤	違反ごみ収集業務 (ソフト事業)		周南市民(一般家庭)	ごみ収集におけるルールの徹底を図り、生活環境の保全を推進する。	分別等に問題があるため、定期収集されないごみを自治会からの通報及び定期的に見回り、回収する。	違反ごみ回収 収集担当回収件数 509件	1.62		0	否	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 違反ごみの原因として、自治会未加入者や集合住宅入居者、他の地域からの持込み者によるものと見られるケースが多く、違反ごみが減らない傾向となっている。			細事業評価 B 改善案 集合住宅専用ゴミステーションの設置やゴミステーションへの施錠、移設など、個別の事情に合わせて対応するほか、啓発チラシの戸別差し込みや集合住宅管理会社への指導等啓発していく。違反ごみの発生には、引き続き、自治会等からの連絡及び定期的な見回りにより、回収していく。					
⑥	粗大ごみ予約受付及び収集運搬、収集手数料収納業務 (ソフト事業)		周南市民(一般家庭)	大型のゴミを戸別収集することにより、生活環境の保全と不法投棄の防止を図る。	大型ごみ戸別回収のため、電話等により収集日日程調整を行う。	H26実績:5,937件 7,471,370円 【地区別件数】 徳山(4,119件)、新南陽(1,013件)、熊毛(778件)、鹿野(27件)	2.87	1.2	76	否	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 申し込みが集中する時期がある。特に、春の転居時期は申込の混雑期になり、急な申込で転出予定に間に合わないことがある。			細事業評価 B 改善案 車両台数の増加や自己搬入システムを紹介していく。					
⑦	犬猫等死体収集運搬業務 (ソフト事業)		周南市民	野良犬や野良猫及び鳥類等の死骸を回収し、公衆衛生の保全を図る。	市民からの連絡により、小動物の死骸を迅速に回収する。	H26回収実績:720件 徳山地区(恋路クリーンセンター)、新南陽地区(新南陽畜場)	0.81		1,361	否	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 件数が多く、即、対応できない場合もある。			細事業評価 B 改善案 休日の収集については、業者委託をしている。					
⑧	自治会等清掃ごみ収集運搬業務 (ソフト事業)		周南市民	自治会から排出された清掃ゴミの収集運搬により生活環境の保全を図る。	自治会から排出された清掃ゴミ「可燃」を収集運搬する。	自治会清掃ゴミ回収	0.87		0	否	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価 A 改善案 引き続き、自治会から排出された清掃ごみを収集運搬していく。					

事業の分類	細事業名	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
⑨	不法投棄ごみ収集運搬業務 (ソフト事業)	周南市民	保健所及び警察との連携により、不法投棄に対応することで、公衆衛生におけるモラルの向上を図る。	不法投棄の連絡を受け、保健所及び警察と連携し、現地確認を行い、直営又は委託により回収を行う。	H26実績 不法投棄報告件数 112件 不法投棄量:21t、タイヤ457本	1.1		873	否	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 不法投棄の収集運搬としての課題ではなく、不法投棄をいかに無くすかが課題である。					B	改善案	警察や保健所の協力を得ながら、投棄者を特定し自己回収をさせていく。通報後の処理を迅速に行い、不法投棄の連鎖を防止する。		
⑩	小型電子機器等(家電)リサイクルシステム業務 (ソフト事業)	周南市民	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律に基づき、小型家電の回収、再資源化を図る。	使用済小型電子機器等を定期収集の燃やせないごみからピックアップ回収及び回収ボックスによる拠点回収を実施する。	小型家電回収ボックス設置(本庁1台、総合支所3台、環境館1台)リサイクルプラザ内でピックアップ(携帯電話、デジタルカメラ)選別回収	0.97		0	可	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律が平成25年4月1日に施行された後、国において、事業者の申請・認定作業を実施し、認定事業者により、回収した小型家電の処理を実施している。					A	改善案	引き続き、使用済小型電子機器等を定期収集の燃やせないごみからピックアップ回収及び回収ボックスによる拠点回収を実施していく。		
⑪	塵芥収集車修繕等管理事務 (経常的事務事業)	周南市民	適切な収集体制を整え、収集体制を確保することで、生活環境の保全を図る。	塵芥収集車等のリース管理及び更新業務等を適切に行っていく。	塵芥収集車等管理台数 塵芥収集車:8台(内リース車7台) 運搬車:4台	0.25		10,864	否	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 過失による事故の修繕等は無く、法定点検や車検及びタイヤ交換が主である。					A	改善案	引き続き、塵芥収集車等のリース管理及び更新業務等を適切に行っていく。		
⑬	ペットボトルキャップ回収支援事業 (ソフト事業)	周南市民及び市内事業所・NPO法人	ペットボトルキャップの拠点回収により、世界の子供の命を救う。	ペットボトルキャップを拠点回収後、事業者へ売却し、売却益をNPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」へ寄付している。	回収ボックス設置:72ヶ所 H26実績:回収量15,488.1kgワクチン16,723人分(延実績:回収量65,929.7kg、ワクチン69,690人分)	0.97		0	否	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					A	改善案	引き続き、ペットボトル回収支援事業を実施していく。		
⑭	リサイクルプラザ残渣運搬業務 (ソフト事業)	N7最終処分場、不燃物処分場	リサイクルプラザで発生する中間処理残渣を最終処分場へ運搬する。	中間処理の運転方法を工夫し、残渣の種類や容量を考慮して効率的な運搬を行う。また、燃料費等の節減を図る。	H26搬出実績:可燃物成型品479,500kg、不燃物バンカ貯留品360,430kg、処理困難物474,770kg、可燃性粗大破砕物54,410kg		1	1,211	可	可
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					A	改善案	引き続き、残渣運搬を実施する。		
⑮										
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案			

事業を構成する細事業【26年度実績】

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成23年4月のリサイクルプラザ稼働に伴い、ごみの分別方法を変更し、併せて、収集範囲や体制の見直しを実施。また、この度、新南陽・鹿野地域のごみ処理施設の変更に合わせて、収集運搬業者等への周知徹底を図った。	前年度までの指摘事項	所管課の評価通り、収集業務は市民の生活に最も身近な業務であり、安定した確実な業務遂行が必要である。	指摘事項に対する改善状況	収集体制については、ごみの分別方法の変更に併せて、収集範囲等の見直しを実施した。今後、処理施設の統合が進む中で、収集運搬体制の見直しを行っていく。
	細事業の課題・問題点	ごみの分別がされていない違反ごみの対応について、定期収集時、ごみステーションに取り残し、後日回収する方法をとっており、ゴミステーションを管理していただいている自治会の方に負担となっている。	事業全体の課題・問題点	ごみステーションを管理していただいている自治会の負担軽減のため、ごみ分別の啓発事業を推進していくほか、違反ごみの収集体制を整備していく必要がある。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	収集業務は、市民の生活に最も身近な業務であり、経済性、効率性も必要であるが、安定した確実な業務遂行が最も重要であり、今後も引き続き、計画性を持って安定した収集業務を行っていく。	改善案	引き続き、経済性、効率性を踏まえて、計画性を持って安定した収集業務を行っていく。 不法投棄については通報後の処理を迅速に行い、不法投棄の連鎖を防止する必要がある。
----	---	---	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課の評価通り、収集業務は市民の生活に最も身近な業務であり、安定した確実な業務遂行が必要である。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード*	800202
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(2)効率的な廃棄物処理システムの確立等

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
周南市不燃物処分場の埋立残余容量の減少に伴い、これまで埋立処理していたごみの再資源化を図っていくとともに、経済性・効率性を踏まえて、安定した確実な収集業務を遂行していく。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	417014	事務事業名	一部事務組合負担金(ごみ処理施設分)	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 一般廃棄物の適正処理の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】 37.30%	
	推進施策の展開	○老朽化が進むし尿処理場の早急な整備を図り、安定的な生活排水処理に努めます。 ○海面埋立事業を活用した将来の廃棄物処理システムの構築を推進するとともに、既存の最終処分場の延命化に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南地区衛生施設組合 周陽環境整備組合	意図(どういう状態にしたい): 徳山・熊毛地域の可燃ごみを適正に処理することで、生活環境の保全及び公衆衛生が確保できる。	事業の内容(手段)	恋路クリーンセンター及び周陽環境整備センターにおいて、徳山及び熊毛地域の可燃ごみを焼却処理する。	【廃棄物処理対策等の取り組み】 49.90%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	周南地区衛生施設組合及び周陽環境整備組合へ負担金を支払い、周南地区衛生施設組合(恋路クリーンセンター)では徳山地域の可燃ごみを、周陽環境整備組合(周陽環境整備センター)では、熊毛地域の可燃ごみの処理を行った。 【H26可燃ごみ搬入量】 恋路クリーンセンター:25,799t、周陽環境整備センター:2,719t						項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費	千円	668,452	541,300	543,772	600,639		727,170							
事業目標	目標名	2施設可燃ごみ搬入量	計算式	達成項目/目標項目		単位	t	事業費	(予算額) うち一財	千円	668,452	541,300	543,772	600,639	727,170
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費		千円	668,082	539,107	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	29,944.0	29,857.0	29,765.0	35,329.0	34,661.0	(決算額) うち一財		千円	668,082	539,107	恋路クリーンセンターの運営に係る経費(清掃分及び基幹改良分)の増による。			
	実績値	28,298.0	28,303.0	28,518.0			正職員人件費		千円	2,051	3,698				
	達成度(%)	105.8%	105.5%	104.4%			人工数		人	0.28	0.50	0.09			
							支出コスト		千円	決見) 670,133	決見) 542,805				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	①	周南地区衛生施設組合負担金(清掃工場分) (経常的財務事業)	周南地区衛生施設組合	徳山地域の可燃ごみを適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。		周南地区衛生施設組合に対し、人口割合に応じて負担金を支払う。 人口割合:47.78%		周南地区衛生施設組合負担金(清掃分)887,513千円に対し、負担割合(47.78%)に応じた負担金を支出した。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価		A	改善案	引き続き、周南地区衛生施設組合への負担金の支払を行っていく。						
	②	周南地区衛生施設組合運営協議会 (ソフト事業)	周南地区衛生施設組合	徳山地域の可燃ごみを適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。		組合と構成市により、組合議会議案や組合運営について、協議し、方針を決定する。(構成員:組合、構成市管理職員)		H27.4から新南陽・鹿野地域、H31から熊毛地域の可燃ごみを恋路クリーンセンターに搬入することで協議が整った。		0.2		0	否	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価		A	改善案	新南陽・鹿野地域の可燃ごみを恋路クリーンセンターへ搬入する平成27年度から、負担金算定方法を見直し、現行の人口割から人口割と搬入量割による算定に改めることとした。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	周陽環境整備組合負担金 (経常的事務事業)	周陽環境整備組合	熊毛地域の可燃ごみを適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。	周陽環境整備組合に対し、搬入割及び平等割で算出した負担金を支払う。 搬入割80%、平等割20%	周陽環境整備組合負担金382,464千円に対し、搬入割(32.1148%)、平等割で算出した負担金を支出した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
							0.1		113,560	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	A	改善案	引き続き、周陽環境整備組合への負担金の支払を行っていく。										
④	周陽環境整備組合担当課 長会議 (ソフト事業)	周陽環境整備組合	熊毛地域の可燃ごみを適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。	組合と構成市により、組合議会議案や組合運営について、協議し、方針を決定する。(構成員:組合、構成市管理職員)	組合議会議案について、協議を行っている。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時			
						0.1		0	否	否			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	A	改善案	岩国市は、新焼却場を沿岸部に新焼却場を建築することで決定し、熊毛地域の可燃ごみ処理については、平成31年度より恋路クリーンセンターへ搬入することで決定済。										

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	周南市の可燃ごみは、2施設で処理しており、恋路クリーンセンターは平成7年、周陽環境整備センターは平成6年にそれぞれ竣工し、老朽化が進んでいる。恋路クリーンセンターについては、平成26年度から3年間かけて基幹改良工事を実施中。	前年度までの指摘事項	所管課評価のとおり、恋路クリーンセンターへの市内可燃ごみ全量受入が決定し、今後は、周陽環境整備組合の方向性を協議していく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	焼却処理施設統合に向けて、関係機関との協議は完了している。今後は、関係施設組合との連携を密にしながら進めて行く。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点	可燃ごみ処理施設の統合は、周南市にとって重要な課題であったが、市内全域の可燃ごみを恋路クリーンセンターへ搬入することが決定している。今後は関係施設組合と連携し、粛々と業務を進めて行く。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	恋路クリーンセンターへの周南市内可燃ごみ全量受入れにあたり、構成市の公平性、経済性等を考慮して、負担金割合、受入時期等を決定した。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A
	所管課評価のとおり、恋路クリーンセンターへの市内可燃ごみ全量受入が決定し、今後は、周陽環境整備組合の方向性を協議していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	800202
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(2)効率的な廃棄物処理システムの確立等

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
可燃ごみ処理施設統合に向け、ごみの減量化等に取り組んでいく。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 リサイクル推進課	評価者 (課長)	川崎 茂昭	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	417090	事務事業名	地域の元気臨時交付金事業費(塵芥収集車整備事業)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V1 環境にやさしいまちで暮らせる	実施計画	○
	基本施策	V12 循環型社会の実現	基本方向	市民、事業者、行政が協働して、ごみの発生・排出削減及び再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を目指すとともに、環境に配慮した一般廃棄物の適正処理に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 再資源化の推進			【廃棄物処理対策や自然環境への取り組み】	37.30%
	推進施策の展開	○リサイクルプラザの稼働により、市内全域の資源物、粗大ごみ、燃やせないごみを効率的に処理し、再資源化を推進します。 ○廃棄物系バイオマスの効率的な利活用を推進し、利活用率90%以上を目指します。			25年度市民評価の満足度	【廃棄物処理対策等の取り組み】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 地域の元気臨時交付金を活用し、市が塵芥収集車を新規に購入する。	意図(どういう状態にしたい): 塵芥収集車を新規に購入する。	事業の内容 (手段)	地域の元気臨時交付金を活用し、塵芥収集車を新規に購入する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、一般家庭から排出された生活ごみ「可燃・不燃・資源物・粗大ごみ等」を計画的かつ安定的に収集運搬するために、地域の元気臨時交付金を活用し、塵芥収集車を新規に購入した。						事業費	項目	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	目標名	塵芥収集車整備事業	計算式	達成項目/目標項目		単位		千円	直接事業費	千円			6,629	
事業目標	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(予算額) うち一財	千円			1,329			
	目標値			6,629.0			直接事業費	千円			6,629		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値			6,629.0			(決算額) うち一財	千円			1,329			
	達成度(%)			100.0%			正職員人件費	千円			1,479			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名	事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否		
	①	塵芥収集車購入 (施設等整備事業)		塵芥収集車購入	塵芥収集車購入	塵芥収集車購入	入札により、塵芥収集車の購入完了。	正職員	臨時等	0.2	6,629	委託	臨時嘱託	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし。						細事業評価						
	②							A	改善案					
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	特になし。	前年度までの指摘事項	/		指摘事項に対する改善状況	/	
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	特になし。			

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	塵芥収集車購入事業は、入札により適正に履行され完了した。今後も、定期的に保守点検等を行い、大切に使用して行く。		改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価通り、大切に使用していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	800201
分野	8環境共生
基本施策	2循環型社会の実現
推進施策	(1)ごみの発生抑制・再使用・再資源化(3R)のさらなる推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考